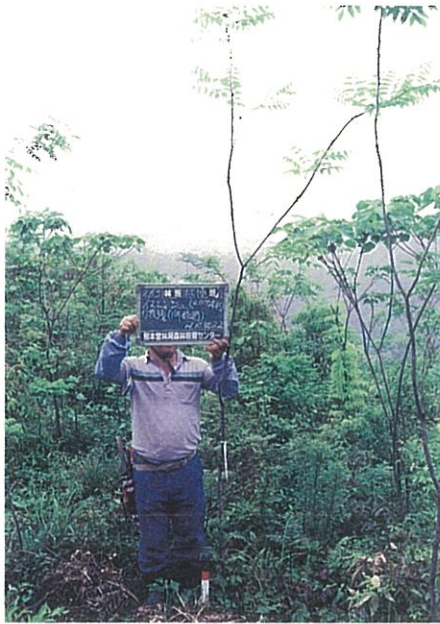


# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



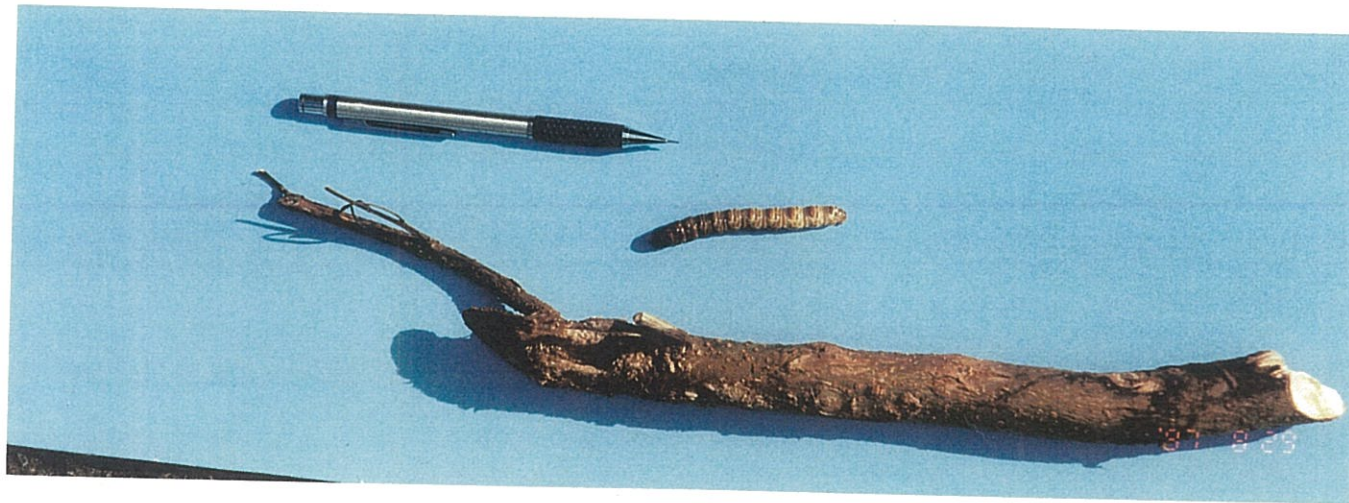
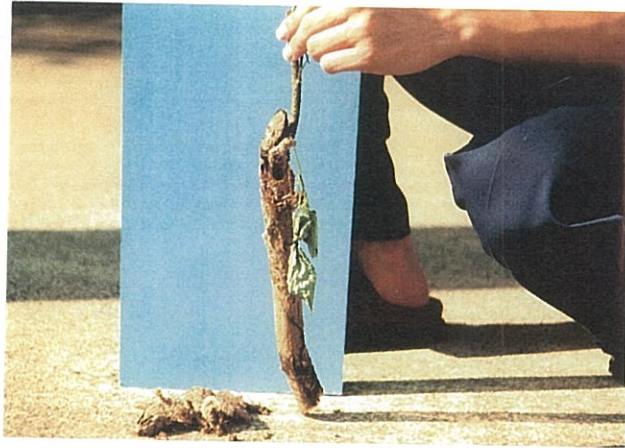
平成10年度263はイヌエンジュ整枝  
平成9年度実施(1年経過)

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成9年度263は(病害虫コウモリガ)

# 状況記録写真

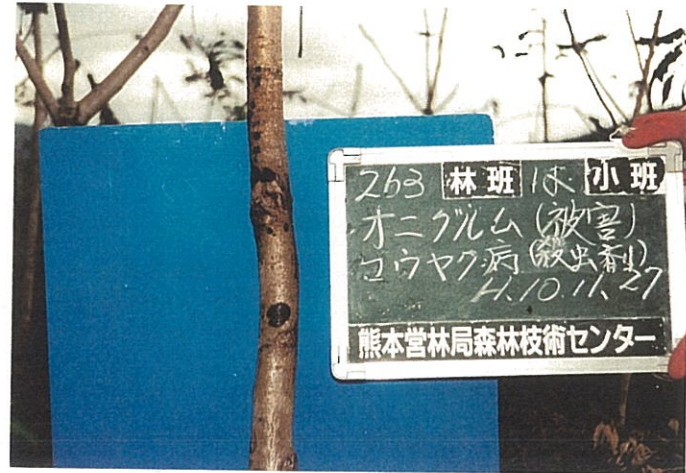
(様式6)

区分

森林技術センター



コウヤク病



オニグルミ

コウヤク病 防除  
殺虫剤(キンチョール)塗布

平成10年度263は被害状況

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成10年度263は鹿被害防止対策

商品名 グリーンコップ

# 状況記録写真

区分	
----	--



平成10年度263はキリ台切



平成10年度263はキリ芽かき

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



実行前



実行後



実行前



実行後

平成10年度263はヤマグワ整枝試験

# 状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成10年度263は下刈状況  
遠景

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



イヌマキ



ケヤキ

平成11年度263は下刈実行中



タブノキ



クスノキ

平成11年度263は下刈実行後



# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成11年度切り芽かき

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

平成11年度切り台切

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

# 状況記録写真

(様式6)

区分

森林技術センター



平成11年度イヌエンジュ整枝

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

平成11年度イヌエンジュ整枝

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



キリ倒木起こし



ユリノキ倒木起こし



平成11年度263は台風被害復旧

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成11年度センダン整枝

平成10年度実行平成11年度実行前

平成10年度実行平成11年度実行後

平成11年度センダン整枝

平成10年度実行平成11年度実行後

平成10年度実行平成11年度実行前

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



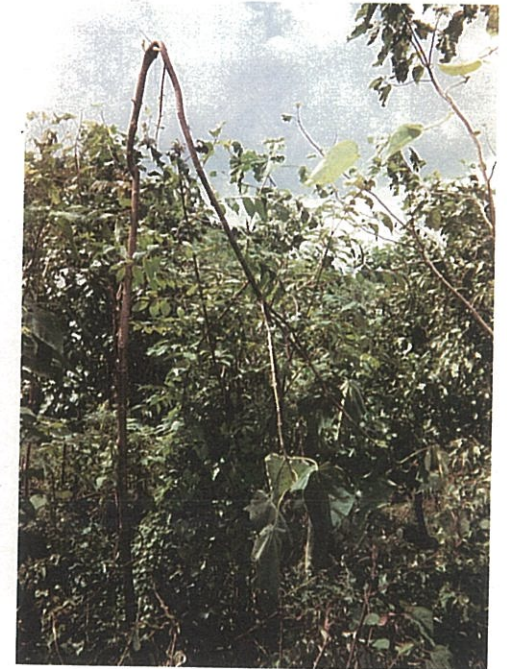
ユリノキ



ユリノキ



キリ



キリ

平成11年度263は台風5号風倒木被害

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



イヌマキ



センダン



ナンキンハゼ



ユリノキ

平成11年度263は台風5号風倒木被害

平成 1 1 年度技術開発実施報告書

様式 2 - 2

No.1

課題名		暖温帯有用広葉樹人工林施行体系の確立 (その1) (1班)			
課題区分	自主課題	開発 個所	去川国有林 263は林小班	開発 期間	平成8年度 ～ 平成66年度
当年度別実施計画			当年度実施報告		
1, 下刈			1, 下刈 樹種別生長度に応じて全刈・筋刈・坪刈を実施、 ユリノキ・ヤマグワ・オニグルミ・キハダ・カツ ラは、生育良好のため無下刈 面積：3.72ha 人工数：48,500人 ○つる切りを実施 (灯油20%使用) 人工数：24,875人 シカ食害のためヤマザクラの枯損が発生したため ○補植を実施した。 補植本数：200本 実施時期：4月		
2, 生長量調査			2, 生長量調査 11年12月調査 調査野帳別途保管		
3, 実施結果			3, 実施結果 各樹種ともおおむね生育良好であるが、テウチグ ルミ・ハリギリ等に生育不良及び枯損が見受けら れる。 病虫害被害は、コウモリガ・クワカミキリ・ゴマ フボクトウ・ツヅミキクイムシ等の被害がキリ・ テウチグルミ・ケヤキ・クワ・クスノキ等に発生 している。また、コウヤク病が軽微ではあるが発 生している。 シカ食害防止対策として、グリーンコップを設置 しおおむね良好な成果を得ている。 イヌエンジュ・キリ・センダン・クワに整枝及び 芽かき試験を実施した。 台風被害がキリ・ユリノキに発生したため風倒木 起こしを実施した。 樹種によっては、生長が旺盛なため立木密度が過 密になっているものが見受けられるため、本数調 整を検討しなければならない時期にきている。		

平成10年度技術開発実施報告書

様式2-2

No.1

課題名	暖温帯有用広葉樹人工林施行体系の確立(1班)			
課題区分	自主課題	開発箇所	去川国有林 263は林小班	開発期間 平成8年度 ～ 平成66年度
当年度別実施計画		当年度実施報告		
<p>1, 下刈</p> <p>2, 生長量調査</p> <p>3, 施肥</p> <p>4, 実施結果</p>	<p>1, 下刈 樹種別生長度に応じて全刈・筋刈・坪刈を実施、生長の早いキリ・ユリノキは無下刈 面積：3.72ha 人工数：48.250人 つる切りを実施(灯油20ℓ使用) 人工数：30.000人 2年を経過し各種被害で枯損木も発生しており、今後のデータ収集から補植が適当と判断した10樹種について合計640本の補植を10年4月実行した 人工数：11.500人</p> <p>2, 生長量調査 10年12月調査 調査野帳別途保管</p> <p>3, 施肥 ハギギリ・イマヅ・材ノキ3月実施 ハギギリ・イマヅ・材ノキ以外の44種は4月実施 肥料種類：鶏糞(黒潮)・化成肥料(70モリ・70ヤマ) クスノキ他5種については肥料種類、施肥数量別試験地設定(別紙施肥一覧表) 肥料種類、施肥数量試験地以外の樹種については鶏糞200ℓを施肥</p> <p>4, 実施結果 各樹種ともおおむね生育良好 シロダモに寒風害による枯損が発生 コウモリガによる穿孔害が微害ではあるが発生 ネムノキ・ヤマザクラにシカによる食害が発生したため試験的対策として外周にグリーンコップを11年2月に設置。設置後の食害は見られない その他野兎の被害が少量発生したため、わなにによる野兎駆除を実施。</p>			





# 技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課題	11-1 暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立 (イチイガシ等の新たな実証試験林(展示林等)の造成)		継続 新規	担当	森林技術 センター (業務第I係)	開発 箇所	去川国有林 263は林小班	
目的	有用広葉樹(イチイガシ・クス・タブ・ケヤキ等)及び特葉樹の広葉樹適地判定育成技術等の人工林施業体系化の確立を目的とし、施業実績や実証データを収集し、暖温帯有用広葉樹等の展示林等として活用する。		開発期間		平成8年度～平成16年度			
年度別実施経過	12年度実施報告			年度実施計画				
	実施内容	備考 (評価及び普及指導)	経費科目					
<p>平成8年度</p> <p>1, 試験地設定</p> <p>2, 地拵・植付(春植)</p> <p>3, 樹高・根元径・枝長の測定</p> <p>4, 試験地標示</p> <p>5, 施肥</p> <p>平成9年度～平成10年度</p> <p>1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長)</p> <p>2, 施肥</p> <p>3, 下刈</p> <p>4, つる切</p> <p>平成11年度</p> <p>1, 生長量調査(樹高・根元径・枝長)</p> <p>2, 下刈</p> <p>3, つる切</p>	<p>1, 下刈</p> <p>各樹種の生長に応じて、全刈・筋刈・坪刈を実施。また、生育の良好な樹種については、無下刈とした。</p> <p>面積：3.72ha 人工数：33,750人</p> <p>2, つる切</p> <p>灯油20㍓ 人工数：28,500人</p> <p>3, 補植</p> <p>ハリギリ山引き苗18本 人工数：3,875人</p> <p>4, 生長量調査</p> <p>平成13年1月調査 調査野帳別途保管</p>	<p>1, 実施結果</p> <p>概ね各樹種とも生育良好であるが、一部の樹種に枯損生育不良及びびが獣害等が発生している。</p> <p>テウチグルミ・キハダに、白紋羽病と思われる枯損が発生した。</p> <p>ネムノキ・ヤマザクラ・オガタマノキに、シカ食害が発生している。ヘキサチューブを設置したが、チューブの劣化に伴い被害が再発している。また、忌避剤入りのビニール袋(商品名グリーシゴップ)で林縁を囲み侵入させない方法を実施している。</p> <p>ヤマグワ・テウチグルミに、コウヤク病が発生している。防止対策として、蜂・ダニ防除用携行殺虫スプレーを吹き付け効果を上げている。</p> <p>害虫被害として、コウモリガ・クワカミキリ等の被害が発生しているが防除対策が確立したものがない。</p> <p>今後、当試験地ではこのような各種被害の発生が予想されることから防除対策が最大の課題となる。</p>	実施 計画	内 訳	品名	数量	単価	金額
			物件費					
			役務費					
			人件費	基職		( )人		
			人件費	臨時		人		
			計					千円

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。  
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。  
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。



平成12年度実施内容

平成 年度実施内容

1, 下刈

各樹種の生長に応じて、全刈・筋刈・坪刈を実施。また、生育の良好な樹種については、無下刈とした。

面積：3.72ha

人工数：33.750人

2, つる切

灯油20ℓ 266円

人工数：28.500人

3, 補植

ハリギリ山引き苗18本

人工数：3.875人

4, 生長量調査

樹種別生長量調査野帳別途保管

人工数：36.250人

考察

概ね各樹種とも生育良好であるが、一部の樹種に枯損生育不良及び獣害等が発生している。

テウチグルミ・キハダに、白紋羽病と思われる枯損が発生した。ネムノキ・ヤマザクラ・オガタマノキに、鹿食害が発生している。ヘキサチューブを設置したが、チューブの劣化に伴い被害が再発している。また、忌避剤入りのビニール袋（商品名グリーンコップ）で林縁を囲み侵入させない方法を実施している。ヤマグワ・テウチグルミに、コウヤク病が発生している。

防止対策として、蜂・ダニ防除用携帯殺虫スプレーを吹き付け効果を上げている。

害虫被害として、コウモリガ・クワカミキリ等の被害が発生しているが防除対策が確立されていない。

今後、当試験地ではこのような各種被害の発生が予想されることから防除対策が最大の課題となる。

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
  - 2 状況写真は別途整理する。



# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行後

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前



# 状況記録写真

区分

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行後



平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

区分

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

区分	
----	--

森林技術センター

(様式6)



平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



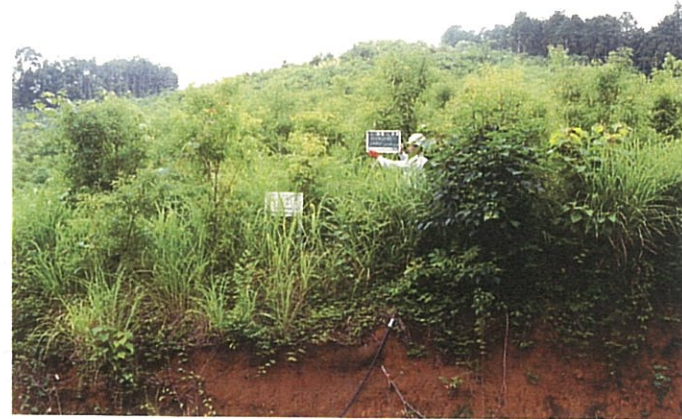
平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

区分

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前

# 状況記録写真

区分	
----	--

(様式6)

森林技術センター



平成12年度263は下刈実行前